



各位

ミニストップ株式会社

2006年9月8日

証券コード: 9946

【国産材割箸 『5円の木づかい』 全店展開に向けて】

ミニストップ株式会社(本社 東京都千代田区 社長 横尾 博)は、林野庁が進めている国民運動である「木づかい運動」に賛同し、2006年6月より『5円の木づかい』とネーミングした国産材(奈良県:吉野地方産のヒノキの間伐材等)を原料とした1膳用の割箸を直営店5店舗で、実験販売しておりましたが、9月19日(火)から、全店へ販売店舗を拡大していきます。

◎実験販売当初から、たくさんの反響を頂きました。

この取り組みでは、「あなたの5円でいっしょに森を育てませんか」と訴えることで、国内の森が疲弊している現状を、身近な木材製品である『割箸』を通して、より多くの方々に知っていただくことが出来ました。

とくにマスコミ関係の方々の反響が大きく、テレビや新聞などで取り上げられたたくさんのご意見・ご提案を頂き、より多くの方々と一緒に取り組める活動とするために、国内のミニストップ全店で展開できるように、物流・販促などの環境を整えることが出来ました。

◎”消費すること”で、維持できる環境もあります。

「割箸」を使うこと自体が環境破壊につながるのではないかと、多くの方からのお問い合わせを頂きましたが、元来、割箸自体が建築材として使用された木材の廃材利用です。

その廃材から生まれる『割箸』は、林業全体の下支えとなっています。

「森」を維持するための費用は、そのような下支えの活動が主な収入源となっているのです。

◎全店展開に向けて

この取り組みは、社会的な側面が強いエコ活動であり、ミニストップ1店1店の加盟店のご理解とご協力がなければ、展開は広がって行きません。

まずは、展開に向けての検証結果の報告や、取り組みの解説などを関東・東北・東海エリアごとに実施しながら、徐々に展開店舗数を増やしてまいります。

この件に関するお問い合わせ先は

ミニストップ株式会社

経営企画室 IR広報担当 菅原・須藤・佐藤・山盛

TEL043-212-6477



【ご参考】

■「木づかい運動」とは・・・

京都議定書では、日本の二酸化炭素の排出量を1990年の水準より6%削減することが義務づけられています。そのうち3.9%を日本国内の森林による吸収が担っています。しかし、日本では手入れが行き届かない森林の荒廃が進んでいるため、今のままでは、京都議定書の二酸化炭素削減目標達成が危ぶまれています。このため、林野庁においては、2005年度から国民運動として「木づかい運動」の取り組みを開始し、国産材の積極的な利用を通じてCO₂をたっぷり吸収する元気な森林づくりを進めようとしています。

■ミニストップでの展開拡大について

当社はフランチャイズ・チェーンであり、基本的な品揃えについては、「推奨」という形をとらせていただいておりますので、一般的なチェーン店よりも導入に対しては、個店での最良の判断が反映できるという利点があります。

従いまして、このような取り組みに対しても同様であり、展開時期や実施店舗につきましては、順次展開となりますので、詳しい情報などに関しては、下記広報担当までお問い合わせ下さい。



B-(3)-060003



■林野庁『木づかい運動』HPアドレス

<http://www.rinya.maff.go.jp/kizukai.html>

■エコロジーオンライン

<http://www.eco-online.org/>

■ミニストップ公式ホームページ「5円の木づかい」詳細情報は

<http://www.ministop.co.jp/ministopfan/kidzukai/index.html>

この件に関するお問い合わせ先は

ミニストップ株式会社経営企画室 IR広報担当 菅原・須藤・佐藤・山盛
TEL043-212-6477